

# フコキシサンチン、化粧品分野も期待

抗肥満作用や抗糖尿病作用が確認されている海藻由来カロテノイドの一種「フコキシサン」は、塗布による美容効果も報告されており、化粧品用途でも利用が始まっている。フコキシサンチンの化粧品分野における動向をひとつ紹介する。

EGFを配合した機能性化粧品が、中旬に上市すると発表された。西アフリカに自生する知られる(株)バイオリンク販売(大阪府中央区)はこの植物、ミトラカーバの抽出物、EGFを二〇倍配合し、高い美白効果も期待できるとして売

り込む構え。製品名は「セ」の認定商品にもなっているという。

## レチノイン様作用に着目

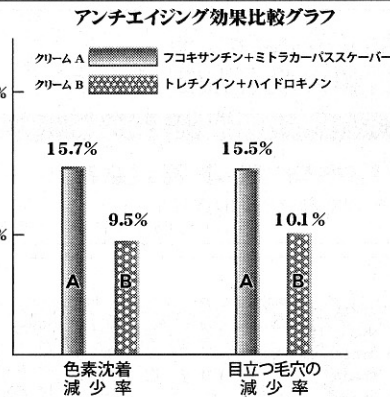
### バイオリンク販売 美容クリームを製品化

「バイオリンク」は、昨年冬、フコキシサンチンのシワ改善作用とレチノイン酸様作用に注目し、エレクトロポレーション法と同様の効果を安全に享受できるとともに、販売できるとして特許を出願した。日本でも美容皮膚科等に

ユージェイビツク(大阪府)

の。同社は昨年、フコキシサンチンの血管新生抑制作用による抗シワ効果を確認し、特許を取得した京都大学大学院の平田孝教授らと、同

に基づく利用が求められており、ハイドロキノンについては日本でも美容クリーム等に配合されているものの、高濃度の塗布で皮膚炎などの副作用も指摘されている。



測定法: 32才から63才の被験者10名が2種類のクリームを半顔ずつ45日間(1日1回0.5g)塗布した後、ロボスキアナライザーで測定した。グラフは10名の平均値を示す。

約を締結。また同社とバイ

いた。同品を用いたヒト塗布試験の結果によれば、被験者一〇名を対象に、色素沈着数、目立つ毛穴数の改善率について同品とレチノイン酸〇・〇五%およびハイドロキノン四・〇%を配合したクリームを比較したところ、同品の方が高い美肌効果が示唆された。

また、同品の価格は三〇万で三万五〇〇円(税込)とかなり高額だが、エイジングケアクリームとして完成度の高い製品と同社では強調。二〇万円以上する高額クリームにも負けないパフォーマンスが期待できる(辻大伴社長)とコメントしている。当面は対面販売が可能なエステティックサロン向けの専売製品として販売ルートを広げたいと考えた。